



神戸学園都市 ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF GAKUENNTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2022年12月 (通巻342号)

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「日々新たなり」 New reforms everyday
- ・国際会長：K. C. Samuel (インド)：
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
Into the next 100 years with FELLOWSHIP & IMPACT
スローガン：「自己を超えて、変化を起こそう」 Beyond Self and Be The Change
- ・アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming (台湾)：
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era
スローガン：「今すぐ実行を」 Doing It Right Now
- ・西日本区理事：田上 正 (熊本むさし)：
「原点を知り将来に生かす」 Know the Origin and utilize it in the future!
副題：「立ち上がれ、ワイズモットーと共に！」
- ・六甲部長：若林茂幸 (宝塚)：
「困難なときにこそ YMCA と共に進もう」 Let' s proceed with YMCA in difficult times

12月 第1例会

日時：2022年12月15日(木)18:30~20:00

場所：西神戸YMCA学園都市

<プログラム>

- ・開会点鐘
- ・ワイズソング
- ・クリスマスメッセージ「いと小さき者」
丹羽和子 牧師
- ・ハッピーバースデー
- ・報告
- ・閉会点鐘

12月誕生者おめでとう！

- ・丹家元陽 (12月4日)

11月の出席状況

第一例会	2名
事務例会	7名

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：内田邦彦、会計：中村 剛、連絡主事：櫻井英治
[委員] 地域奉仕・環境：森本哲男、Yサ・ユース：柴田昌一、交流：田辺征一、辻本邦子、ファンド：
丹家元陽、野呂隆、EMC：田辺征一、広報・プリテン：田辺征一、メネット：合田洋子、
メール委員：杉本隆人

[西日本区役員] JWF 委員：杉本隆人 [IBC]台湾高雄ポートクラブ (2004年1月締結)

[DBC]東京武蔵野多摩クラブ (2011年6月締結) [DBC]岡山クラブ (2018年6月締結)

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402、FAX 078-793-7470
第1例会：第3木曜日、事務例会：第1木曜日、

会 長 通 信

会長 杉本隆人

今期テーマ「日々新たなり」

今年も、あと2週間と少しで新しい年を迎えるのだと思うと、何か嘘のような気がします。年々ですが季節感を感じることができないようになって、クリスマスのイルミネーションもどことなく淋しく、年末商戦で頑張っている商店街ではなく、とても静かな神戸の街角風景に思えてなりません。三年も続いたコロナのお陰で、すっかり活気が消えたような気がします。

今年を表す漢字として選ばれた「戦」という文字は、ウクライナ侵攻からの影響下が大でしょう！ この影響で、石油が高騰し、小麦が暴騰し、極端な円安で日本も物価が上昇しつつ、インフレーションに突入、ただでさえ景気が落ち込んでいる中で、これでもかという追い打ちに我々は疲弊させられているのが現実ですね。

こんな時に、1つ質問です！！

「あなたの夢は何ですか？」

あなたは、どのような夢を持って行動していますか？ という質問に即答できる人は、何パーセントいますか？

人生はたった一度きり、悔いのない人生を送りたいとは思いませんか？ 夢を叶えるには、2つの方法があるといわれている。

1つは、夢を叶えることを目標にし、日々努力し、叶えていく。1つは、夢を忘れてしまうこと。自分では無意識に夢を忘れて、日々の忙しさの中で、もがき過ぎてしまっているのが現実かも知れませんね。

時には、自分自身に問いかけてみてください。

「あなたの夢は何ですか？」

もう一度、少年のような素直な気持ちを取り戻し、常識に捕らわれず自由な発想で、夢を創造してみませんか？

[Boys, be ambitious]、少年よ、大志を抱けと和訳されていますが。直訳すれば、「野心」を抱けと、クラーク博士は言っています。

< 11月例会報告 >

「第24回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022」

日時：2022年11月23日（木）9:00～11:30

場所：しあわせの村

出席：櫻井、杉本

週間天気予報、11月23日は雨、「しかし、最近の天気予報ってだいたいズレるから、大丈夫ちゃう？」チャリティーランにかかわるすべての人がそう願っていた。

大会前日。23日の天気予報は午前中雨、午後から曇り。週間天気予報は見事に的中しました。急ぎ雨具の準備。傘をさすわけにはいかず、とって通気性のよいアウトドアウェアを持っているはずもなく、タンスを探したところ、出てきました。3年前に購入したポンチョ。これで防寒対策をすればばっちりよ、と前夜は早めに就寝。

23日当日。やはり雨。湿気がありなんとなく生温い気温がせめてもの救い。1.2kmウォーキングにエントリーしたのは、田辺メン、柴田メン、杉本メン、それと私櫻井。田辺メンは体調のこともあり、エントリーのみ。残るは3人。柴田メンは「雨やからやめとくわ」との連絡。なんでやねん！と残されたのは杉本メンと櫻井。



宝塚クラブからお借りした被り物を持ってスタート地点。この被り物、米袋を使ったもので、前が見えるように穴が開いている。歩いているとズレてくるので、ズレを調整するためのレバー付き。被り物の中でマスクをしていると蒸れて暑い暑い、スタートしてすぐに脱ぎました。こめんなさい、宝塚クラブの皆さん。

杉本メン「櫻井さん、もうあかんわ。歩かれへん」

櫻井「なに言うてはるんですか、まだ50mも歩いてないですよ」

杉本メン「足痛いねん、もうあかんわ」

誘導係「このチームが最後尾ですよ」

すでにノーオーディエンス。

櫻井「いつの間に！杉本さん、がんばりましょうよ」

杉本メン「あかんもんはあかんねん。ここで待ってるから。一緒にゴールはしよ」

スタートから 100m 地点で杉本メンはリタイヤ。櫻井がナンバーカードを帽子に貼りつけ、クラブのメンツのためひたすら独歩。ゴールは杉本メンと一緒に写真におさまって、参加賞もいただき！

雨は止んでいました。



(櫻井英治)

< 12月事務例会報告 >

日時：2022年12月8日(木) 18:00~19:30

場所：西神戸YMCA

出席：内田、櫻井、杉本、田辺、丹家、野呂、森本

1. 報告事項

(1) チャリティーラン 11月23日(祝)

小雨決行、櫻井、杉本出席

(2) 六甲部役員会(リモート会議)

12月5日(月)

○六甲部会 出席者 第一部 50名

第二部 129名

○チャリティーラン 3.5km 47名、
1.2km 42名、1.2kmウオーキング
116名

○部則改定(案) 輪番制維持、指名委員会、立候補制を部則に組み入れようとしているが、現行通りでできるように最終版を準備する。

○東西交流会の参加とマーシャル募集
現状 神戸3~4名、西宮3名、芦屋
4名、ポート3名、学園都市2名

(3) 理事通信12月号を受信。

2. 協議事項

(1) 12月例会は、クリスマス礼拝のみ行う
(丹羽牧師には了解済み)

伴奏者の藤井さんが欠席 プログラムは
丹羽牧師と協議のうえ決定。

礼拝後、ささやかな祝会を有志で行う。

(2) 理事提案の次年度より西日本区会費値
上げについて協議

理事提案2案については、反対(会費値
上げしない方向を模索)

理由：会費を値上げすれば、会員減少の
スパイラルに陥る可能性がある。

対策案：①経費削減策(交通費の支給率
を70%から50%へ)、②会員増員を促進
させる。(新クラブ増設運動、部単位)

③定期役員会の一部をリモート会議にす
る。

(3) 1月例会 新年懇親会 2023年1月19日
(木) 18:00~20:00

場所：名谷「金龍閣」

(4) 1月の事務例会は、5日に実施する。

(5) 東西交流会の募集とマーシャル募集に
ついて要綱を配布し募集する。

3. YMCA報告

人事異動 11/1 西宮YMCA 藤田氏が
学園都市へ

メンバーズコーナー

< 久しぶりのローンボウルズ国際大会 >

さる10月28日~30日まで、しあわせの村で
「第7回ローンボウルズジャパンオープン国際
大会 ワールドマスターズゲームズ関西 リ
ハーサル大会」(以下大会)が開催されました。
この大会は2009年に神戸市しあわせの村でス
タートして、2019年まで2年毎に行われていま
した。2011年はしあわせの村、2013年は明石
市明石公園ボウルズグリーンで。2015、2017年
は横浜市のYC&ACで。2019年は明石市と3会場
の持ち回り、順調に行われていましたが、コロ
ナのパンデミック以降はキャンセルとなり、今

回3年ぶりに人工芝に張り替えられた、しあわせの村グリーンで海外チームを迎えて3日間の競技日程でした。

海外チームは香港2チーム、シンガポール、フィリピンの3ヶ国4チーム。日本チームは日本代表、車椅子2チーム、ローカルチーム7の合計14チームが参加しました。海外チームは選手の年齢も若く、ナショナルチームの選手や、それに続く選手など強豪が薙めき、日本チームの苦戦が予想されていました。しかし予想に反して優勝は日本代表。2位香港B、3位はシンガポール、4位はフィリピンとなりました。しあわせの村での日本チームの優勝は2011年に続き2回目でした。蛇足ですが出場選手の年齢層は20代～91歳まで。幅広い層が出来るスポーツです。

老若男女、健常者もそうでない人も十分楽しめます。皆さんやってみませんか？

ちなみに優勝メンバーは合田洋子、江村健一、小山潤の皆さんでした。

“メデタシメデタシ”



尚、詳細は下記の P26 に掲載されています。

<https://www.insidebowlsmag.com/dec22/index.html>

(合田純二)

聖書の小窓

「居場所がある」

「宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」

ルカによる福音書 2章7節

クリスマスの物語で有名な場所は、イエス様が「馬小屋」(家畜小屋)でお生まれになったことです。なぜそこでお生まれになったか。ルカによれば「宿屋には彼らの泊まる場所がなかった」からでした。しかし、宿屋にはなくでも、「馬小屋」(家畜小屋)こそが、イエス様の場所としてあったのです。

単身赴任中のことですが、月に1回は家に帰ることができました。すでに食卓にイスがないので、自分の居場所がここにはもうないのかなど思ったりしていました。あるクリスマス帰宅の時でした。そのころの家族ブームは「茶碗蒸し」だったようで、新しい器を購入したようでした。家族で嬉しそうにそれを開封しているときに、たまたまそこに居合わせたのです。私の関心は「いくつ買ったのか」ということでした。私を入れて5人家族ですが、4つだったらどうしようと思ったのです。さすがに「5個」ありました。その時に、自分の居場所がここにあること、居場所を用意されていることの喜びを感じたのです。

神様は場所を用意してくださっている。どんなに苦しい試練の中にあっても、ちゃんとそれを避ける場所も用意してくださっています。クラブでの場所も神様がその任を果たすために用意してくださっている場所です。与えられた場所に感謝して、今年もクリスマスの時を過ごしてまいりましょう。

西日本区チャプレン 立野 泰博